

区立保育園看護師発 今月のテーマ

♡ おう吐・下痢による脱水の予防 ♡

冬になると、感染性胃腸炎やおなかのかぜ等おう吐や下痢をおこす疾患が流行します。子どもは脱水を起こしやすく、自分自身で水分をとることが難しいためおう吐や下痢の症状が始まったら、早めに経口補水液を飲ませましょう。
※6か月未満のお子さんは経口補水液ではなく、母乳や人工乳をあげましょう。



経口補水液とは・・・糖分と塩分を小腸で最も吸収しやすい状態にした食品で、スポーツドリンクとは違い電解質の濃度が高く、からだへの吸収速度が優れているので、嘔吐・下痢をして失われた水分を補うために使用されます。パッケージにマークがついています。(左に表示)

経口補水液の飲ませ方

ティースプーン1杯(5ml)の経口補水液を5分間隔で飲ませ続けていきます。

目安は4時間で50cc×体重(kg)

(欲しがる場合には100cc×体重(kg)程度あげても良い)

飲んだ経口補水液を吐いてしまった場合も続けていきます。



5分間隔



5分間隔



・・・続ける

Attention



- 経口補水液を嫌がる時は、薄めたスープやおかゆ(塩分が入っている)でも代用できます。
- 症状が強く、口から水分がとれない、ぐったりしているまたおしっこ量が減るなどのときは、医療機関を受診しましょう。



大田区の感染症情報

感染症の予防対策を続けましょう!

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染症対策を徹底して他の感染症の流行が極端に減りました。しかし、RSウイルスの免疫を獲得しない乳幼児が増えたため、今春の流行に関連している可能性があります。

現在、新型コロナウイルス感染症が減少傾向にありますが、感染症対策を怠ると、再びRSウイルス・インフルエンザ・感染性胃腸炎など感染症の大流行につながる可能性があります。引き続き、感染予防対策に取り組んでいきましょう。

感染症予防対策は、

継続することが大切です

- ・マスクを正しくつけましょう
(2歳以下のお子さんにマスクの使用は避けましょう)
- ・手洗い、消毒
- ・咳エチケット
- ・適切な換気
- ・3密を避ける



子育てアラカルト(糀谷・羽田 地域)

深まりゆく秋を子どもたちと楽しみませんか

公園を散歩中に落ち葉や木の実を探したり拾ったり、子どもと一緒に楽しんでみませんか。ゆったりとした気持ちで子どもと触れあうと、ストレスが軽減され、リラックス効果がある『幸せホルモン』が、脳内から分泌されるそうです。

※小さな木の実や葉っぱは、口や耳・鼻に入れないように、気をつけてあげましょう!遊んだ後は、石けんで手を洗いましょう。



- 糀谷・羽田地域の区立保育園に聞きました
落ち葉・木の実が楽しめる公園
- 西糀谷二丁目北児童公園
大田区西糀谷二丁目23番16号
 - 萩中くすのき公園
大田区萩中一丁目7番29号
 - 南前堀緑地
大田区東糀谷三丁目9番1号先
- いろいろな公園で秋を見つけよう